男鹿南中学校 校報　＜学校教育目標＞　夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 生徒の育成　令和６年2月1日号

こだま

〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
https://edu.city.oga.akita.jp/ogaminami-jh/
校報通算　第285号

“SHINKA”し続ける男鹿南中

学校評価アンケートの結果を、教育活動の「進化・深化・新化・伸化」につなげます。

校 長　森 山 直 人

今年度もあと２か月となりました。今年度の重点施策「男鹿南ぐろおがる」の成果が問われる時期でもあります。今号では、12月に生徒、保護者、教職員を対象に実施した「学校評価アンケート」の結果をもとに本校の教育活動の状況を分析し、今後重点的に取り組むべき事項を見いだします。

学校評価アンケート結果分析　（生徒、保護者、教職員対象）

項　目	R4	R5			
	後期	前期	後期		
	生徒・保護者・職員平均			生徒	保護者
① 学校生活	3.4	3.4	**3.5**	3.6	3.3
② 学習指導	3.4	3.4	**3.4**	3.7	3.3
③ 基礎学力	2.7	2.9	**2.9**	3.3	3.0
④ 学習意欲	3.0	3.0	**3.3**	3.4	3.1
⑤ 家庭学習習慣	2.6	2.7	**2.8**	3.2	2.7
⑥ 自信･自己有用感	3.2	3.2	**3.1**	3.3	3.2
⑦ 生徒指導	3.5	3.5	**3.5**	3.6	3.5
⑧ 教育環境	3.4	3.5	**3.4**	3.6	3.3
⑨ 情報発信	3.7	3.6	**3.7**	3.6	3.6
⑩ 地域連携	3.4	3.6	**3.7**	3.7	3.5
⑪ 部活動	3.4	3.5	**3.4**	3.8	3.5
⑫ 部活動指導	3.7	3.7	**3.6**	3.6	3.7
⑬ 学校行事	3.6	3.6	**3.7**	3.8	3.7
⑭ PTA活動	3.3	3.3	**3.4**	3.6	3.4
⑮ 職員の対応	3.6	3.7	**3.8**	3.7	3.9

※0.2ポイント以上の差があると有意差(たまたま起こった差ではなく意味のある差)があると考えられます。

＜昨年度との比較＞

◎　④学習意欲、⑩地域連携が0.3ポイント向上しました。「男鹿南ぐろおがる」の取組（総合や地域貢献等）を通し、地域と関わり、地域と協働する取組を展開してきたことがこの結果に結び付いていると考えられます。

○　③基礎学力、⑤家庭学習習慣が0.2ポイント向上しました。しかし、いずれも3.0を下回っていることから、今後も重点的に取り組む必要があります。⑮職員マナーについては、今後も生徒や保護者のみなさまの立場に立った親身な対応を心掛けてまいります。

△　⑥自信・自己有用感が継続して課題となっています。自信をもって挑戦したり、他から認められたりする場や機会を、これまで以上に意図的に設定していきたいと思います。

＜生徒評価＞

◎　②、⑩、⑪、⑬、⑮が3.7以上でした。南中生は今年度の学校生活を大変充実したものだったと感じているようです。最もうれしい結果です。

＜保護者評価＞

△　全体的に②～⑤の学習指導に関する評価が低めでした。お子さんの学力向上への期待と、学校への授業の充実に対する願いであると考えます。今後も教職員一同、生徒一人一人を伸ばす授業づくりに向けて、チーム男鹿南中として取り組んでまいります。自由記述では貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございました。一つ一つについてじっくり検討し、解決や実現に向けて取り組んでまいります。

生徒の記述にみる「ぐろおがる」の成果

【1年生】
・自分たちの地域のよさに気付くことができました。
・地域貢献活動のおかげで人見知りの自分が知らない人と話せるようになった。
・いろいろな人が男鹿を守ろうとしていることに関心をもった。
・生きていればなんとかなる精神が身に付いたと思います！

【2年生】
・男鹿についてしっかりよいところを発信することができてよかったです。
・男鹿についていろいろな考えを聞き、様々な捉え方をできるようになった。
・地域の人と関わることは楽しいということがわかった。
・男鹿のためにできることがまだたくさんあることに気付いた。

【3年生】
・男鹿の人口減少が進んでいる理由もわかったし、つくるべき会社やものを考えられるようになった。
・地域のリアルな現状と頑張ってくれている人の話を聞いて、私に今何ができるかを考えるチャンスになった。
・男鹿には他にはないよさがたくさんあると分かりました。
・今まで事業のことを簡単に考えていたが、どこでやるのか、どのようになるのか、なぜやるのかといった基本的なところでも難しく、男鹿に合った事業を行うことの大変さを感じた。
・言葉だけで言うなら簡単だけど、実際に計画しようとなるといろいろ問題がでてきて大変だなと思った。
・最初は何も分からなかったけど、だんだん男鹿のためにできることを考えられるようになった。
・現在進行形で男鹿の魅力に気付いてくれた人が課題解決に取り組んでくれていると知った。男鹿には、まだまだ活性化できるものがあると知った。